

科名 外科
対象疾患 PL-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能再発乳癌
プロトコール名 キイトルーダ+ nab-PTX

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	22	...	29	...	36	...	43	...	50	...	57	...	64	...	71	...	78	...	84
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓				↓		↓		↓				↓		↓		↓				
2	点滴注	側管	キイトルーダ	400mg	30分かけて	↓												↓												
			生理食塩水	100mL																										
3	点滴注	側管	デキサート注	6.6mg	30分かけて	↓		↓		↓				↓		↓		↓				↓		↓		↓				
			生理食塩液	50mL																										
4	点滴注	側管	アブラキサン	100mg/m ²	60分かけて	↓		↓		↓				↓		↓		↓				↓		↓		↓				
			生理食塩水	20mL																										

★1クール＝84日

～MEMO～

・催吐レベル2 (10～30%)

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<アブラキサン>

本剤は特定生物由来製品（血液製剤）のため、同意書およびLot番号管理が必要である。

他の薬剤との配合または同じ静注ラインでの同時注入は避ける。

薬剤部にて5mg/mLとなるように調製し、総投与量をラベルに赤字で記載する。

小児用点滴ルート(JY-ND363PL)を使用。

投与量が少ないためルート内は出来るだけ入れ切る。(目安:ルートの半分程度)

その際、滴下速度はそのままにする。(クレンメは全開にしない。)

インラインフィルターを使用しない。

投与前後にルートキープの生食でフラッシュ。